

令和6年度第1回成田市防犯まちづくり推進協議会概要

1 開催日時

令和6年10月21日（月）午後3時～午後4時

2 開催場所

成田市花崎町760番地

成田市役所 本庁舎6階 中会議室

3 出席者

（委員）14名

山田会長、勝田委員、佐瀬委員、杉山委員、佐藤委員、森口委員、篠塚委員、高松委員、國井委員、竹尾委員、井口委員、藤崎委員、阿部委員、長谷川委員

（事務局）6名

市民生活部 谷平部長

交通防犯課 五木田課長、塩川主幹、根本主幹、篠田主査、五十嵐主任主事

4 議事

- (1) 第4次成田市防犯まちづくり推進計画の成果について
- (2) 街頭防犯カメラの設置について

5 配布資料

- ・ 会議次第
- ・ 成田市防犯まちづくり推進協議会委員名簿
- ・ 席次
- ・ 令和6年度第1回成田市防犯まちづくり推進協議会会議資料

6 議事（要旨）

（1）第4次成田市防犯まちづくり推進計画の成果について

令和6年度第1回成田市防犯まちづくり推進協議会会議資料に基づき、事務局から第4次成田市防犯まちづくり推進計画の成果について報告。主な質疑応答は、以下のとおり。

長谷川委員：第4次計画までは毎年防犯カメラの設置を5台行くと目標値があったが、第5次計画も同様に年間5台の設置を行っていく考えでよいか。さらに、現在の成田市の防犯カメラの設置台数は同規模の他市と比較してどのような状況であるか。また、電話 de 詐欺の対策について、今年は発生件数が減っているとのことだが、今後の取り組みについてはいかがか。

事務局：第4次計画まで防犯カメラ設置の方針を年間5台と計画に明記していたが、第5次計画では具体的な台数を定めず、これまで以上に設置拡充に努めていくとしている。現在、市では97台の防犯カメラを管理しているが同規模の自治体と比べて防犯カメラの台数は多いほうであると認識している。今後も台数にかかわらず必要な箇所に必要な台数を設置できるように努めていく。また、電話 de 詐欺対策については、年金支給日に行っているキャンペーンをはじめとする広報啓発や地域防犯推進員の方から地域の方へ周知をいただくといった活動を今後も継続し、更なる件数減少・撲滅に向けて取り組んでまいりたい。

阿部委員：犯罪情報・不審者情報の提供とあるが、内訳としてはどのようなものがあるか。

事務局：交通防犯課からは主に電話 de 詐欺防止の啓発を行っている。事案があった際に発生状況についてメールを配信している。犯罪発生状況や不審者情報等については成田警察署から配信しているものがある。

（2）街頭防犯カメラの設置について

令和6年度第1回成田市防犯まちづくり推進協議会会議資料に基づき、事務局から街頭防犯カメラの設置について説明。質疑については特になし。

（3）その他

長谷川委員：最近県内では闇バイトを利用した強盗被害が相次いでいるが、その対策について

高松委員：犯行の手口として、訪問業者を装って個人情報等を聞き出し、狙いを定めているのが特徴であるため、対策としてそういった業者に対して個人情報を教えないことや、怪しいと感じたら警察へ相談をしてもらいたい。また、闇バイトについては、若者を中心にSNSを通じて、高額な金額で募集されており、日頃から家族等でそういった闇バイトの存在について話をして、知ってもらい、周知されていけば減少していくと考えている。

7 傍聴 1名